

補助金の申請を
サポートします！

「補助金活用リース」 を使って 低温機器を導入

活用事例

卸売市場輸出
対応型品質管理
高度化支援事業

導入の
メリット

- 1 農水省「卸売市場輸出対応型品質管理高度化支援事業」のリース導入補助金を活用
- 2 熱源機を空調機からR410Aコンデンシングユニットに変更し、生花の品質保全環境を改善
- 3 ホシザキ京阪株式会社様と三菱電機クレジットによる万全のアフターフォロー

株式会社なにわ花いちば 様



庫内温度を安定させ
輸出体制を強化！

LEDやエアーカーテンにも
リースを活用



納入機種

三菱電機製 R410A コンデンシングユニット
ECOV-EN75MC×2、ECOV-EN30WA×1、他

お客様の声

生花は常温空輸なので、梱包時の温度が命です。

株式会社なにわ花いちば
取締役 営業部長 大西 常裕 様 営業部 課長 牛久保 茂 様

当社では2008年からメイド・イン・ジャパンの生花を海外へ輸出しています。主な輸出先は北米で、全体の約75%を占めます。現在は約100品種を輸出しており、人気は「スイートピー」、「グロリオサ」、「ランキュラス」の3品種。おかげさまで売上高は順調に伸びており、今後さらに販路を拡大する予定です。

今回は輸出拠点強化のため、プレハブ倉庫を改築しました。以前は空調機を使っていたので、真夏になると作業場の温度が23～25℃にまで上昇。常温で空輸される生花にとって、梱包時の室温が高いのは、とても厳しい環境です。そこで、熱源機を他社製空調機から三菱電機製R410Aコンデンシングユニットに変更。プレハブ倉庫自体の断熱性も高め、夏季でも作業場を18～19℃に、冷蔵庫（新設）を5℃に保つことができる環境を整えました。ここを出発した生花が海外の業者に受け取られるまで50～60時間。これなら元気に海を渡ってくれるだろうと期待しています。

提案者の声

補助金を最大限活用できるように工夫しました。

ホシザキ京阪株式会社
食品産業課 本社食品産業係 課長 飯田 弥寿志 様

なにわ花いちば様から補助金[※]の相談を受けたのが2015年6月初旬のこと。当時は空調設備3台を使用して温度管理を行う作業場で、生花の入荷選別や出荷用の梱包作業をしておりましたが、夏場の作業環境は厳しいものでした。今回の補助金[※]に建築物は該当しないため、現状の作業場を改造する方向で話を進めることになりましたが、天井が低いためにカートや移動ラックが照明に当たりそうな状況の中、天井のパネル断熱と冷媒配管の施工を実施。効率的に冷却できるR410Aコンデンシングユニットやエアーカーテン・LED照明の機種選定にも気を遣いました。

今回ご採用いただいた三菱電機製品は、高い信頼性と優れた施工性があり、お客様には迷わずオススメすることができました。支援事業決定からの工期が短いこともありましたが、生花市場が12月の繁忙期に入る前に、お引渡しができたことは有り難く、今回の工事に携わっていただいた関係各社様にお礼申し上げます。

※卸売市場輸出対応型品質管理高度化支援事業（補助額はリース総額の1/2の範囲内）